

## 院生会の幹事決まる

### 今年度からゼミ代表制に

OSIPP 院生の自治組織、院生会の 2001 年度の総会が 4 月 19 日、OSIPP 棟で開かれ、幹事会の運営をゼミ代表制にすることなどが決まった。

幹事会のメンバーは従来、毎年春の総会で有志を募り選んできたが、一般の院生は院生会の運営に無関心な傾向があっ

たため、今年度からは各ゼミごとに代表者を選び、その代表者全員で幹事会を構成するようになった（学生の少ないゼミは複数のゼミを連合して代表を送る）。幹事はゼミ内で院生の声を集約し、適宜開催される幹事会に反映する一方、各ゼミ内の院生は幹事が担当している任務を協力して行うという体制となった。

院生室の利用は、全席自由席制から、一部をゼミごとに割り振った一部指定席制に変えた。院生室の掃除

もゼミ当番制

になった。

新幹事は以下のとおり。

▼代表：山根達郎（星野研、D1）▼副代表：西村朋美（米原研、M2）、大江哲平（村上研、M1）▼HP：守本豊（斎藤研＝7ゼミ連合、M1）、石川路子（跡田研、D2）▼書記：福井裕之（黒澤研、M2）、宮塚透（橋本研、D3）▼会計：貝原亮（辻研、M1）、青田安紀子（林研、M2）▼清掃：松永佳甫（山内研、D1）、平松燈（高阪研、M1）▼備品（ロッカー担当）：小林圭（野村研、M1）、福嶋由里子（床谷研、M1）▼備品（一般担当）：小林恵（矢部研、D2）＊敬称略。7ゼミ連合は、伴、斉藤、藤井、マッケンジー、真田、松繁、

下村各研究室。



「シャープ株式会社」の海外マーケティング部で働く山口遊子さん

▼シャープの液晶テレビの横で



を持ち、仕事でもずっと海外部門を担当しているという外向性は、確かに旅人の気風に通じるようだ。

大阪女学院

短期大学にいたころは「英語を勉強して、海外へ留学しよう」と考えていたが、2年のとき、講義に来ていた黒澤満・OSIPP教授の話に啓発され、阪大法学部への編入を決意、合格者若干名の試験にパスして3年次に編入学した。法学部卒業後、そのままOSIPPの修士課程に進学、結局計4年

間にわたって黒澤

教授のもとで核軍縮の問題を研究、98年に修士を取得した。

就職活動では「海外の人と接する仕事がしたい」と積極的に門をたたき、シャープ株式会社に入社。以来海外での販売活動やマーケティング戦略に携わっている。4年目に入った今年は、ヨーロッパやアジアへの海外出張も多くなった。持ち前の英語力とバイタリティを駆使し、現地の市場調査に駆け回っている。

先日、インドに出張した。インドには日本のような量販店はなくほとんどが家族経営の店。顧客への売り込みはとにかく熱心で、売り手自身が納得するまで止めないというすごさだそう。「販売の方法も商品に対する反応も国によってさまざま。現地の人と話をすることで、ナゾが解けることもよくあります」と言う。

「新しいことやチャンスに挑戦する姿勢は絶対に忘れないようにしたい。これからも積極的にいろいろな経験を」と、あくまで前向きな姿勢は、むしろ旅人の資質というより OSIPP で培った学風だろう。

## 川崎・准教授招き懇談会

OSIPP 同窓会「動心会」の懇談会が 7 月 6 日、大阪ガスのエネルギー・文化研究所で開催された。会社帰りの卒業生を中心に 20 名を超える会員が集まった。今回は、OSIPP 客員研究員で、カナダのサイモン・フレーザー大学政治学部准教授の川崎剛氏を招き、「日本外交の展望：在外日本人の視点から」と題して話を聞いた。

同氏はグローバリゼーションを前提に国内・国際両面における新制度構築の重要性を指摘。今後の日本外交の鍵は新制度のもと国力と信用を

国際社会において確立出来るかどうかにあると強調した。同氏の問題提起をうけ、日本経済活性化のための制度改革や国家戦略策定の重要性、大学の社会的責任、ひいては OSIPP の今後の研究体制のあり方についても活発な意見が交わされた。終了後は会場を移し講師を囲んでの懇親会を楽しんだ。動心会は今後も活発な懇談会などの開催を予定しており一層多数の会員の参加を期待している。

動心会事務局では会費の納入を呼びかけている。問い合わせは動心会事務局（Tel: 06-6850-5839、e-mail: nsado@osipp.osaka-u.ac.jp）まで。

<会費>

正会員(卒業生): 入会金 5,000 円（初年度のみ）と年会費 5,000 円（毎年）

賛助会員：10,000 円から

<振込先>

①三和銀行池田支店、普通口座、5221399、口座名義は阪大大学院国際公共政策研究科同窓会、あるいは②郵便振替口座、00920-2-137357、口座名義は阪大大学院国際公共政策研究科同窓会

同窓会コーナー  
OSIPP ALUMNI